



# 須留が峰

令和5年度  
No.25

HPアドレス <http://yabuboard.ed.jp/yabu-jhs/>

令和6年2月19日 発行



## 三寒四温？

先週3連休明けの2月13日(火)と14日(水)は、この時期には珍しく気温が20℃近くにもなる春のような天気になりました。朝、まだ冷え込みが残る空気の中で、久しぶりに青く広がる空を見て、身体がスッと伸び上がるような気持ちとともに、何ともいえないうれしさがわき上がってきました。



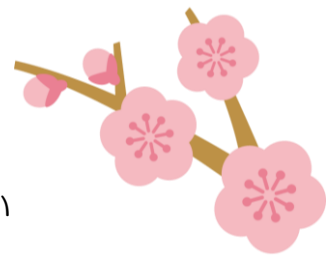
この土日も暖かいお天気でしたが、週間天気予報を見ると、まだまだ寒暖差も大きく、雪マークが付いている日も見られます。

「三寒四温」とは、春先に、1週間のうち寒い日が3日続いたとしたら、残りの4日は暖かい日が続くという意味の言葉ですが、今回は、たまたま暖かい日が続いただけで、なかなか「三寒四温」とはいえない春まだ遠い日々が続くようです。

こうした天気ではありますが、3年生は、来たるべき春に向かって気持ちを合わせて受験に臨んでくれています。10日(土)は、私立高校の入試日でした。また先週15日(木)は、県立高校の推薦入試日でした。受験する生徒がそれぞれにしっかりと挑んでくれたことを心強く思っています。とりわけ「推薦」で実施される面接試験については、初めてのことで不安もあったでしょう。しかし、練習を重ねるごとに表情や口調に落ち着きややわらかさが見られ、短期間で生徒の変容に驚くとともに喜びを感じました。「みんな、同じように不安なんだ。だからこそ、みんなで乗り越えていこう。」と呼びかけながらがんばりました。踏ん張って挑みきったことで、人はまた大きく成長するものと信じています。3月の来たるべきその日まで、3年生の団体戦はまだ続きます。3年生一人一人に、日々、校長室からエールを送っているところです。

2年生にとっては1年後、1年生にとっては2年後に立ち現れる「入試」。人生の大きな節目のひとつであるその時に向けて、「**在りたい未来**」を自分でこれからどのように創っていくか。入試対策は、もうすでに始まっているのかもしれない。3年生の姿や動きを見ながら、自分の「在りたい未来」を少しずつ少しずつ描いていきたいですね。

3年生はもちろんのこと、2年生にも1年生にも、それぞれの春は遠いようで、実はすぐそこまで来ているのです。



### 正面玄関のマットが変わりました



本校ホームページにおいてもお伝えしていますように、このたび、正面玄関(生徒昇降口)のマットを取り替えました。これまではブラウン(ベージュ)のマットだったのですが、長年の使用で擦り切れ、薄くなってきていたので、新しくしました。赤いマットに変わり、玄関の雰囲気も大きく変わりました。

生徒たちの「心のレッドカーペット」になればと、赤にしてみました。ご来校の際にぜひご覧ください。

## 学校評価に係る「保護者アンケート」への回答結果を受けて

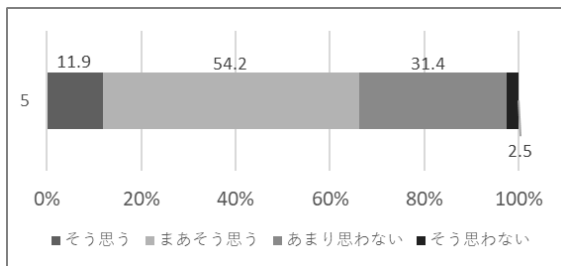
年明け早々の1月10日～19日には、本校の「学校評価」にあたり「保護者アンケート」をお願いしたところ、短期間にもかかわらず、保護者の皆様には回答にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

早速、お寄せいただいた回答をとりまとめるとともに、本校の教職員による校内評価の結果と合わせて、過日2月6日(火)に開催した「学校運営協議会」において提示・説明をし、委員の皆様から包括的にご意見や助言をいただいたところです。「自由記述」も具体的にいただき、ありがとうございました。

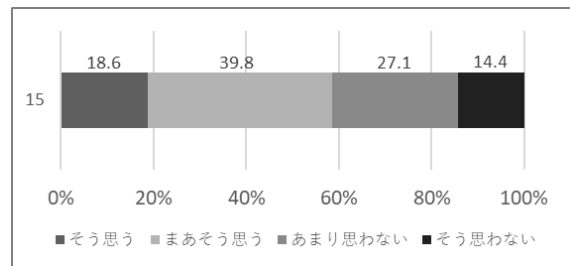
さて、「保護者アンケート」には全20問の質問項目がありましたが、そのうち、「そう思う」「まあそう思う」というプラス傾向の回答が8割～9割を占める項目が15項目ありました。本校の学校運営について、総じてご理解をいただき、日頃より支えていただいておりますことに深く感謝申し上げます。

とはいえ、それら15の項目においても、「あまり思わない」「そう思わない」といったマイナス傾向の回答が1割から2割程度あることにも着目し、謙虚に日頃の取組を見つめ直し、改善を図っていきたいと思っています。また、全20問の質問項目のうち、マイナス傾向の回答が3割～4割を占める項目が5つあり、そのどれもが毎年度の継続的な課題となっています。下記に示すグラフがその5つの項目の結果です。昨年度に比べてその割合が少しずつ減ってきており、改善傾向ではありますが、学校としてさらに取組を工夫する必要があると考えています。

**5 本校では、学力充実のための学習指導が充分に行われていると思われませんか。**



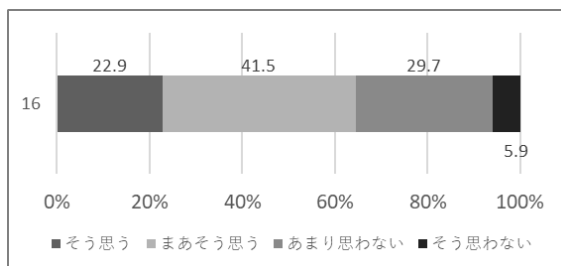
**15 お子さんは、家庭学習の習慣が身についていると思われませんか。**



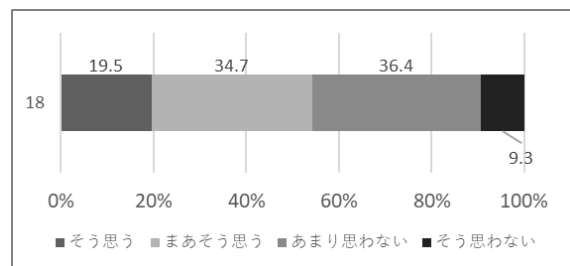
学力・学習状況調査の結果や各学年での校内テストの状況を見ても、確かな学力の定着状況については、継続的な課題としてとらえています。今回いただいた自由記述の回答の中にも「補充学習を行ってほしい」という要望もいただいています。本校としては、日々の授業の工夫改善に努めるとともに、課題(家庭学習)についても内容や量を吟味して取り組んでいるところです。

昨年12月13日に発行した学校だより第20号に記載しているとおり、本校生徒の家庭学習の時間は全国や兵庫県の平均に比べて短い状況です。そのため、現在、各学年が家庭学習の習慣化に向けたプロジェクトを企画して取り組んでいます。ご存じでしょうか。「課題をしなくても気にならない」状態に至らないように、小中一貫教育の観点からも、校区内の3つの小学校とも連携し、養父校区全体で家庭学習の習慣化に向けて取組を進めています。

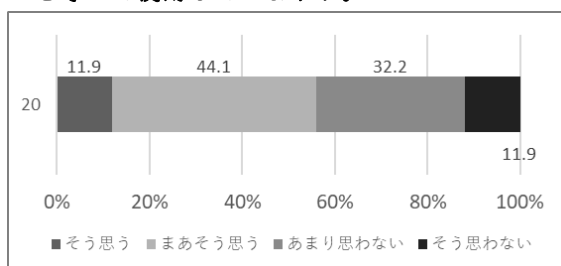
**16 お子さんは、休日や部活動のない日に自分の時間を有効に活用していると思われませんか。**



**18 お子さんは家で、「お手伝い」をよくしていると思われませんか。**



**20 お子さんはゲーム、インターネット、SNS等の使用方法を家族間で約束をつくり、決まりを守って使用していますか。**



質問項目16・18・20の改善に向けて、学校として、まずは家庭での生活時間をしっかりと確保することが大切なのではないかと考えています。そのために、校時表を組み替えて、下校時刻を30分早めることができないか検討しているところです。

お手伝いについても、今年度から「シン・そうあんの日」を設けて取り組んでいますが、回答結果によりよく結びついていないように思えます。

家庭での基本的な生活習慣の維持のために、まずは時間の確保から始めようと考えています。

「ABC + DE」はすべてのベース → 「学校評価」関連は次号に続く